

阪急沿線 75駅目 ちよい駅散歩

きたせんり

北千里
KITA-SENRI



北千里駅

所在地/吹田市古江台
設置/1967年3月1日

大阪万博とともにニュータウンとして発展した北千里は、駅こそ吹田市に位置するものの、北へ少し歩けば箕面市、西に歩けば豊中市と、3市が接する便利な街。カフェ激战区・小野原か、はたまた昭和の香りが残る新千里東町か。さて、今日はどちらに向かって歩こうか。



人と人が繋がる優しい街へ



comm cafe 人と人を料理が繋ぐ、みんなの居場所

ベトナムやモロッコ、ロシアなど、13カ国22名の「ワンディシェフ」が日替わりで腕をふるうランチがいただけるカフェ。シェフは地域に住まう外国人主婦が多い。提供されるのは全て母国の家庭料理ゆえ、同じ国でも人によって違いがあるのが面白く、初めて食べる味なのにどこか懐かしい。近所の日本人マダム、子ども連れの外国人ファミリー、国や年齢が違ってもおいしい料理を味わえば自然と笑顔に。ココはみんなの「居場所」なのだ。

●朝カフェ9:30~11:30、ランチ11:30~14:00(売り切れ次第終了、日曜・祝日はスナック類のみ提供)、午後カフェ14:00~17:00/月曜休(12月27日~1月3日は休)/☎072-734-6255

千里ニュータウンを歩くと
さまざまな住宅に出合える。



小学校の方向かいにあるので、子どもたちが帰りに立ち寄ることも、ここは学校公認の「寄り道場所」なのだ。

ひがしまち街角広場 誰もを受け入れる街のオアシス

街びらきから半世紀、建て替えが進む新千里東町で「気軽に集える場所を」と2001年にオープンしたコミュニティスペース。お客さんもボランティアスタッフも、ほとんどが東町の住人。「スタッフが座って、お客さんが立って話していることもあるんですよ」と教えてくれたのは、2階に事務所を構える太田さん。「あなた、前に来たことない?」ふらりと立ち寄った新参者にも自然に接してくれる、垣根の低さがこの場所の、そして街の魅力なのかも。

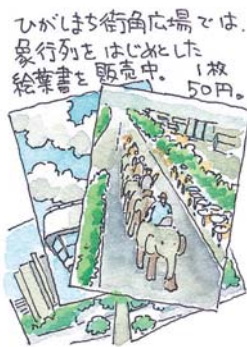
●11:00~16:00/第4土曜と日曜・祝日は休(12月25日~1月7日は休)/☎06-6831-9701



千里中央公園 ニュータウンを見守る展望台

千里中央公園ができたのは大阪万博開催の2年前、1968年のこと。展望台からは、六甲や箕面の山々から万博公園の太陽の塔まで見渡せ、千里を一望できる。かつては昭和天皇・皇后両陛下もここから万博予定地をご覧になったとか。展望台の隣には、子どもたちに大人気の総延長150メートルにも及ぶ「ローラースペリ台」も。ガラガラというローラーの音とともに滑り下れば気分爽快!

●[展望台・ローラースペリ台]9:30~16:30/☎06-6858-2353(豊中市公園みどり推進課)



珍風景! 千里にゾウがやってきた!

日本中、そして世界中から多くの人々が訪れた大阪万博。開催された1970年、会場にやってきたのは人だけではなく、8月、イベントに出演するためタイから約20頭のゾウが来日。なんと神戸港から万博会場へと、歩いて移動したというから驚く。今や当時の様子は絵はがきで振り返ることしかできないが、北千里駅前を大きなゾウたちがのっしのっしと行進する姿は、人々の心をワクワクさせたに違いない。